

第19回

静岡歴史教育研究会



国際社会と響きあう歴史教育

—留学生と海外交流から考える—

報告者:

見城悌治 (千葉大学大学院国際研究学術院)

近代日本と留日中国学生の「交流」

桜井祥行 (静岡県立韮山高校)

韮山高校の探究コースと歴史教育

吉川牧人 (静岡県立掛川西高校)

掛川西高校の授業実践と歴史教育

司会: 岩井 淳 (静岡大学人文社会科学部)

今回は、「国際社会と響きあう歴史教育」という共通テーマを掲げ、現在、大学と高校で教鞭をとっている三人の先生方をお招きし、留学生や海外交流の視点から歴史教育を考えます。最初の報告者は、近代日本と中国人留学生の交流をテーマに日中の関係史を研究される見城悌治先生です。二番目の報告者は韮山高校で探究コースを立ち上げ、地域と世界を結ぶ歴史教育を追究される桜井祥行先生です。三番目の報告者は、掛川西高校を舞台にインドネシアとの交流や動画配信などによってユニークな歴史教育を実践する吉川牧人先生です。

日本社会が内向き志向を強める今こそ、国際社会との交流に注目し、留学生や外国籍の生徒を世界への窓口として積極的に位置づける歴史意識を醸成することは有意義に思われます。みなさん、ふるってご参加ください。

日時: 2020年8月8日(土) 14:00~18:00

会場: 静岡大学人文社会科学部4F 401教室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場: 無 料

主 催: 静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤を構築する教材・教授方法の探究と高大連携の進展」、静岡歴史教育研究会
問合せ先: 岩井 淳 (静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com

(ご注意) 今回はコロナ対応のため定員を40名とさせていただきます。参加希望の方は岩井までメール連絡をお願いします。マスク着用でご参加ください。会場の関係で締め切らせていただく場合があります。また、今回は懇親会の予定はありません。